



令和2年度 芦城中学校 学校だより

あしぶえ



令和3年 2月 1日

校長 藤田 信宏

自分で動き、考える人に

1月は「行く」と言われるように、新しい年を迎えてから早くも1ヶ月が過ぎました。お正月に決意した夢や目標を実現するための活動は、順調に進められているでしょうか。

ところで、毎年1月2日と3日に行われる箱根駅伝。駒澤大学が最終10区の大逆転で、劇的な優勝を成し遂げるなど、今年も多くのドラマが生まれました。連覇を目指した青山学院大学は、往路では12位に沈みましたが、復路優勝を果たして総合4位でゴールしました。

この青山学院大学の原晋監督は「人の指示を待たずに動ける、考えられる人材が伸びる時代です」と話しています。青山学院大学は、監督が練習メニューを与えるのではなく、選手自身が自分の目標を立て、その目標に向かって自分たちで練習方法を考え、取り組むそうです。もちろん監督に相談はするそうですが、まずは自分で考えるそうです。けがからの復帰の計画も、ただどうすればいいかを一から監督に聞くのではなく、自分で計画を立て、それから監督に相談し進めていくのだそうです。

「人の指示を待たずに動く、考える」ということを意識することで、また一歩成長できるのではないかと思います。



新年の決意を筆に込めて ～書き初め大会～

1月8日（金）に新年最初の行事として、書き初め大会が行われました。

1年生は「将来の夢」、2年生は「新たな目標」、3年生は「無限の可能性」を書きました。新年を迎え、気持ちも新たに真剣な表情で筆を走らせる姿が見られました。



タブレットを活用した授業が始まりました

先日もお知らせしたように、生徒に一人1台貸与したタブレットを活用した授業が始まりました。

1月13日（水）全校一斉に、タブレット活用のルールや基本的な操作について学ぶ時間を設けました。そして早速、翌日から各教科でタブレットを使い始めています。

私たち教職員も研修を積んで、より効果的な活用方法を工夫し、確かな思考力・判断力・表現力、豊かな創造力、情報活用能力やコミュニケーション能力をもった生徒の育成に努めていきます。



ちょっといい話

地域の方（本校の卒業生の方）からうれしい電話がありました。



先日の大雪の時、妻と二人で道路の雪かきをしていると、通りかかった2名の芦中生が大きな声で「こんにちは！」とあいさつをしてくれました。疲れが吹っ飛びました。OBとして誇りに思います。

あいさつには驚くべき力がありますね。これからも爽やかなあいさつを！

栄光を讃える

[illegible]